

R4	2023.03.15
	卒業時満足度調査（令和4年度） 集計結果と報告（国際教養学部・教育学部）



令和4年度卒業時満足度調査の結果を報告します。卒業生の86%から回答が得られました。

1. アンケートの実施

実施	令和5年2月上旬から3月5日
対象者	令和4年度卒業生136名【内訳】国際教養学部88名 教育学部48名
回答者	117名（回答率86%）【内訳】国際教養学部69名（78%）教育学部48名（100%）
方法	下記の6つの質問項目で、用紙およびインターネットでアンケートを実施した。 質問1～4については、下記の5段階で評価を行った 評点5（大変満足している）、評点4（満足している）、評点3（どちらとも言えない）、評点2（満足していない）、評点1（まったく満足していない） 質問5については、8つの選択肢を複数回答で選んだ。 質問6については、自由記述で回答した。

アンケートの内容											
質問1	「本学の教育について、満足していますか。」										
質問2	「学友との出会いに満足していますか。」										
質問3	「学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。」										
質問4	「就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか。」										
質問5	「以下の用語はディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与方針）に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください。（複数回答）」 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 理論的な思考力</td> <td style="width: 50%;">6 考え方の柔軟性</td> </tr> <tr> <td>2 コミュニケーション力</td> <td>7 多文化・異文化理解</td> </tr> <tr> <td>3 物事を多角的・多面的に考える視野</td> <td>8 自ら課題を立てて、解決する力</td> </tr> <tr> <td>4 教養・知識</td> <td>9 その他</td> </tr> <tr> <td>5 専門的な知識と技術</td> <td></td> </tr> </table>	1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性	2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解	3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力	4 教養・知識	9 その他	5 専門的な知識と技術	
1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性										
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解										
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力										
4 教養・知識	9 その他										
5 専門的な知識と技術											
質問6	その他、本学に特に満足したことや要望等があれば、ご記入ください。										

2. 集計結果

2.1 質問1～4の解析

回答	学部	評価点分布						全学
		1	2	3	4	5	平均値	
質問1 本学の教育について、満足していますか。	国際教養学部	5	4	26	19	15	3.50	3.75
	教育学部	0	1	3	29	15	4.14	
質問2 学友との出会いに満足していますか。	国際教養学部	1	5	11	16	36	4.17	4.38
	教育学部	0	0	4	8	36	4.67	
質問3 学習に関わる施設、設備、備品は十分でしたか。	国際教養学部	8	14	31	6	10	2.94	3.21
	教育学部	0	3	17	24	4	3.60	
質問4 就職活動・教員採用試験等への支援は十分でしたか	国際教養学部	10	11	21	14	13	3.13	3.64
	教育学部	0	3	3	15	27	4.38	

質問 1～4 への回答の分析結果を示す。

- ・ 質問 1 は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で 3.75 の評価を示している。評価 5 大変満足していると評価 4 満足している、を合わせて、67% (78 名) となっている。この値は、昨年度 (2020 年度) の 82% に比べてかなり低くなっている。
- ・ 質問 2 の学友関係については、全学平均で 4.38 の高い評価を示している。
- ・ 質問 3 「施設・設備」の評価は全学平均 3.21 であり、2019 年の 3.54、2020 年の 3.67 に比べて低くなっており、自由記述欄に記載の様にプロジェクターへの不満が高いことが分かる。
- ・ 質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で 4.38 と、高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部での就職支援の評価は 3.13 であり、改善が必要である。

回答	年度	評価点分布 (国際教養学部、教育学部)					
		1	2	3	4	5	平均値
質問 1	2020 年度	2	2	10	29	35	4.19
	2021 年度	2	4	20	39	41	4.07
	2022 年度	5	5	29	48	30	3.75
質問 2	2020 年度	2	2	3	19	52	4.50
	2021 年度	0	0	7	22	77	4.66
	2022 年度	1	5	15	24	72	4.38
質問 3	2020 年度	3	10	14	34	17	3.67
	2021 年度	7	13	34	28	24	3.46
	2022 年度	8	17	48	30	14	3.21
質問 4	2020 年度	2	2	18	21	35	4.11
	2021 年度	6	8	19	16	47	3.94
	2022 年度	10	14	24	29	40	3.64

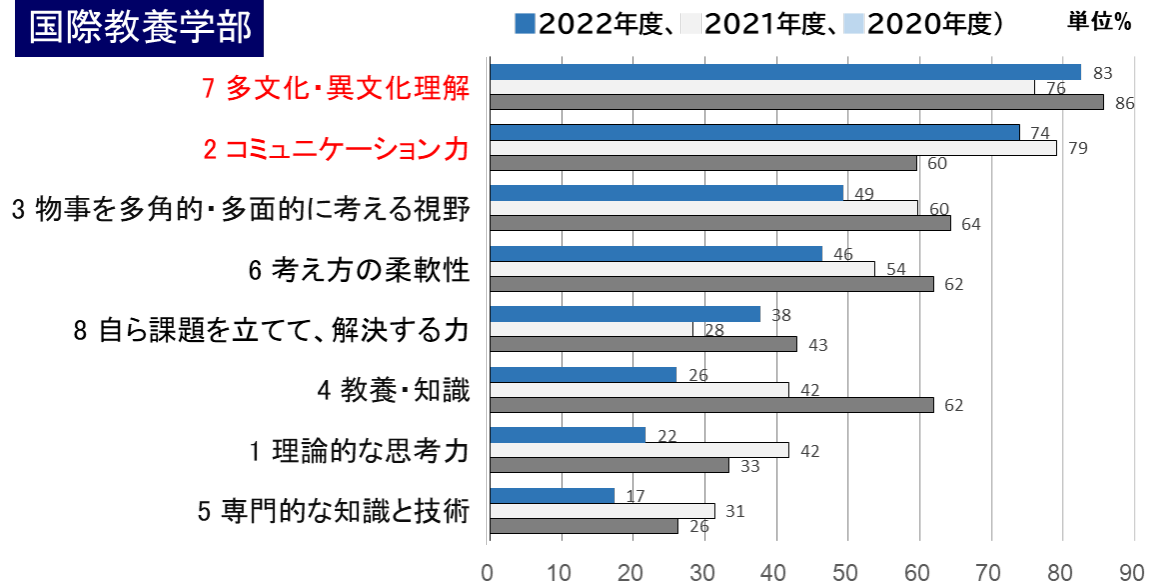
2.2 質問 5 の解析

質問 5 以下の用語はディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針) に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください (複数回答)

1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力
4 教養・知識	9 その他
5 専門的な知識と技術	

回答	選択項目	割合 (%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2019 年度	44	80	66	56	24	66	84	34
	2020 年度	33	60	64	62	26	62	86	43
	2021 年度	42	79	60	42	31	54	76	28
	2022 年度	22	74	49	26	17	46	83	38
教育学部	2019 年度	17	70	57	50	57	50	10	30
	2020 年度	42	72	47	78	67	47	22	56
	2021 年度	49	69	67	59	62	49	15	67
	2022 年度	29	71	42	67	67	50	17	25

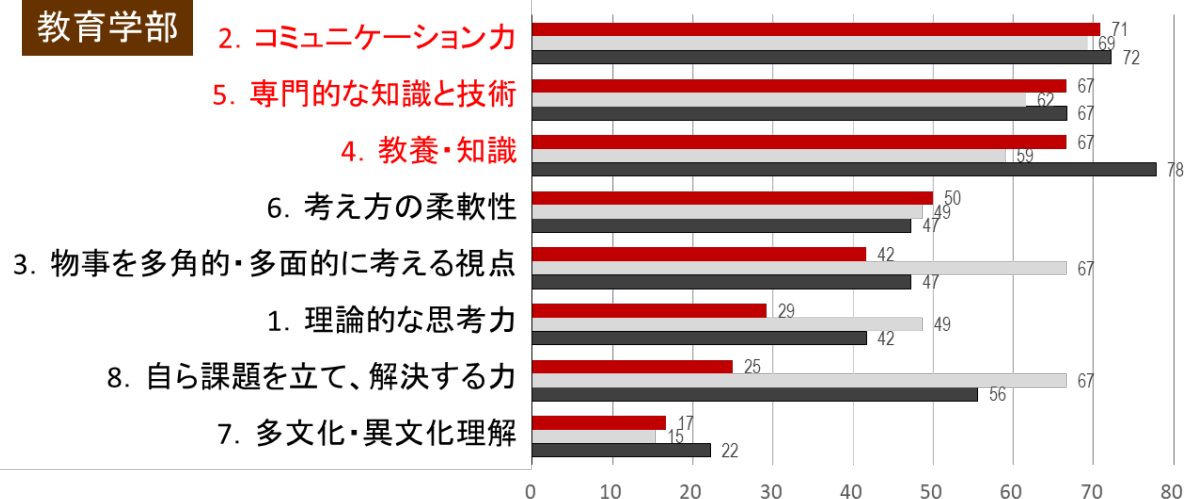
国際教養学部



- ・ 国際教養学部では、「7 多文化・異文化理解」「2 コミュニケーション力」が身についたと、70%以上の学生が答えている。
- ・ 一方で、「5 専門的な知識と技術」「1 理論的な思考力」「4 教養・知識」がそれぞれ17%、22%、26%と低く、2020および2021年度と比較すると、大きく減少している。
- ・ また、「3. 物事を多角的・多面的に考える視野」「6 考え方の柔軟性」「8 自ら課題を立てて、解決する力」は、ここ数年、低下傾向にある。

■ 2022年度、■ 2021年度、■ 2020年度 単位 (%)

教育学部



- ・ 教育学部では、「2. コミュニケーション力 (71%)」を選んだ割合が一番高く、「5 専門的な知識と技術 (67%)」「4 教養・知識 (67%)」も高い割合で選んでいる。ここ数年、「5 専門的な知識と技術」「4 教養・知識」が身についたと答える学生が多くなっている。
- ・ 一方で、「7 多文化・異文化理解 (17%)」「8 自ら課題を立てて、解決する力 (25%)」「1 理論的な思考力 (29%)」が低くなっている。
- ・ 今年度の傾向として、昨年度割合が高かった「3. 物事を多角的・多面的に考える視野」「8 自ら課題を立てて、解決する力」が、それぞれ67%から42%および25%へ低くなっている。